

2019年度 発達支援つむぎ ふじみ野ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
環境・体制設備について	1 入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	3.4	清掃には配慮しているが、十分時間を設けることができないこともありますが、利用者様に気持ちよくつむぎをご利用していただけるよう全スタッフが環境整備に努めて行こうと考えています。
	2 職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	2.1	法廷内人数で、どうしても良い支援を行えるか日々検討し改善を重ねてきています。各スタッフの得意な分野を生かしながら連携、共有するよう努めて参ります。
	3 ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		十分な人数で支援できたらと考えるが、適度な大人の人数を配置することで、お子様の成長へと繋がる機会の提供にもなっているため、安全面に配慮しつつ、過剰な介入を避け、お子様自身が自分の力で成長できる機会を提供していきます。
業務改善について	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	2.8	指導に関しては、PDCAが行われています。ルーム運営や業務改善については、PDCAを怠らずに進めて行けるよう、話し合いと振り返りの場を定期的に設けて行こうと考えています。
	5 保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.0	保護者様のご要望にお応えしていくこと、お子様の良さがさらに伸ばせる支援へのご理解いただけるよう、引き続き、ご意見を真摯に受け止め、改善に向けて努力して参ります。
	6 この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.9	ルームへの掲示とどろんご会ホームページにて公開しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.3	定期的に法人と県に評価をいただいております。
	8 職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.3	スキル講座などの機会はあるが、指導が入っているなどの理由で参加が難しいこともある。職員間で連携をとって、代表者が研修を受け、全職員と共有する機会を設けて行きます。
	9 業務改善について、ご意見をお聞かせください。		
適切な支援の提供について	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	2.6	ICF関連図を用いて、お子様の発達過程や課題を把握し、支援内容の決定へと繋げて行こうと努力しています。
	11 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	2.9	お子様と保護者様のニーズを見極め、話しあいのもと支援計画を作成しております。
	12 グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.4	ねらいの設定と共有を怠らず、お子様の支援目標に沿った指導を提供しております。
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.0	お子様にとってどんな体験や経験が必要か、常に模索し、お子様が楽しく通いながら経験の積み重ねができるよう指導内容の工夫しております。
	14 プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	3.6	必ず行っています。さらに効率性を上げるため、ねらいと関わり方について毎回打ち合わせに盛り込んでいきます。
	15 支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.8	指導後に15分以上時間を設けて、振り返りは、必ず行っています。
	16 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.1	振替時に、記録に残す内容を共有し、次回の指導に繋げています。
	17 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	3.9	提示予定月内に個別支援計画を提示しております。月初に対象の方への提示が終えられるよう努力して参ります。
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	2.6	
19 適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		スタッフの専門性を向上させるため、各自、勉強するなり、研修に参加していく必要があるとの意見が出ています。互いに得た知識を共有する機会を設けることで、自身の力がついてくると思われるため、努力をして参ります。	
関係機関	20 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.0	スタッフ間の経験値によって、差がみられています。日々、共有を怠らないことと、互いに教えあう機会を設けていく、アドバイスを受けたことをやってみて振り返る機会を設けていく必要があります。
	21 所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.0	園訪問では、つむぎでの支援やお子様に必要な経験の積み重ねをしていくことの大切さをお伝えさせて頂いています。他保育園や幼稚園と連携してお子様への支援を提供させて頂いています。
	22 児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	2.8	担当者会議などを通して、他事業所との連携や相互理解に努めています。4年目にして、つむぎの理念や支援の方向性を理解して頂いている事業所が増えていきます。
	23 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	2.9	担当者会議や児童連絡票などを利用して、お子様の様子や必要な支援を共有する機会を設けています。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
や保護者との連携について	24 児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.1	埼玉県の研修を受講、今後は、県巡回指導の希望をしていく予定です。
	25 地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.4	保育園とも連携し、自治体が主催する会議にはすべて出席し、情報の収集と意見交換に参与しています。
	26 障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.1	併設園という環境を活かして、つむぎをご利用している子どもたち全員が、いろんな子どもたちと関わる機会を提供しています。
	27 事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.0	子育て支援センターとつむぎカフェが併設されているため、地域の方々につむぎを知って頂く機会を設けています。今後、地域の方向けのイベントの回数を増やして行けると良いと考えております。
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	2.1	スタッフがペアレントトレーニングの研修を受講を終えた時点で、ペアレントトレーニングを実施していく予定です。
	29 関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	30 契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.6	時間が限られているが、ご不明な点が残らないよう丁寧に説明しています。時間が経過すると覚えていないこともあるかと考えられるため、定期的に情報の提供ができるようスタッフからも周知を行っていきます。
	31 保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.1	相談には適切に応じ、正しい助言ができるスタッフが中心に対応できるように心がけています。
	32 保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.3	つむぎカフェや待合スペースを使って、保護者様同士が繋がる場となっています。さらに繋がりを持てるよう、保護者様向けのイベントや情報提供の機会を増やしていくと考えております。
	33 お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.4	迅速に対応し、すべてのご意見を真摯に受け止め、改善やご理解へと繋げています。マニュアルに沿って本社とも共有をさせて頂いております。
	34 掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	2.6	口頭でお伝えやご説明をするともに、掲示板に掲示したり、お知らせを配布して情報を発信しております。
	35 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉かけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	3.4	支援の一環として、配慮しスタッフ間でも共有しています。言葉の使い方については、頻度高くスタッフに問いかけ、改善できるよう努力しております。
	36 個人情報の取扱に十分注意しているか。	3.9	個人情報の取り扱いについては、徹底しております。保育園スタッフとも共有し、連携していけると良いと考えています。
	37 職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	2.9	時間が限られている中でのすべての共有が難しい部分もありますが、各スタッフが時間を調整し、共有する時間を設けています。
	38 保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
	非常時の対応について	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.0
40 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。		3.9	保育園と連携して、避難訓練など定期的に行っております。
41 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。		2.6	一年に一回以上、虐待研修を行っています。県と法人の研修へ代表する職員が参加し共有をしています。
42 ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。		3.6	毎日、保育園とつむぎで共有し改善へと繋げて行けるよう努力しております。
43 非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。			マニュアルに沿って行動することが原則なため、定期的にマニュアルを読み合わせる機会を設けて行きます。
満足度について	44 利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	3.9	楽しく通ってくれているように感じているスタッフが多いです。楽しくなさそうなきには、どうしたらお子様が楽しく通ってくれるか試行錯誤し、楽しいと思ってもらえるように努力しています。
	45 つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	3.9	戸外活動や園児との時間を過ごすことで、成長に必要な経験の積み重ねをしつつ、自己肯定感が高まっているお子様を多く見ることができるとともに、スタッフも多くの機会の提供ができたかと考えています。
	46 設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		